

ワークショップについて

【協議にあたって】

- ・各グループにおいては、以下の流れを参考に、本大会のテーマに沿って協議していただきます。
- ・参加者は、申込時に選択した関心事項が同じ方同士となるよう、グループ分けをしました。各グループは、**様々な方（行政関係者（都道府県・市区町村）、民間団体、地域の関係者）**で構成されています。
- ・グループ協議中は、議論の手助けとなるよう、**アドバイザー（有識者等）**が巡回します。
- ・各グループの活発な協議を通じて、**地域の多様な機関や人材が連携した家庭教育支援の充実への“きっかけ”**としていただければと思います。

時間(目安)	「ワークショップ」の流れ	
14:45～14:50 (5分)	・事務局より、進め方等の説明 ・アドバイザーの紹介	
14:50～14:55 (5分)	<p><話し合いの流れ></p> <p>※ <u>各グループの司会、書記(シート提出者)、発表者は、文部科学省より事前に指名されていますが、グループ内での話し合いにより変更しても構いません。</u></p> <p>※ <u>各グループには、順次アドバイザーが巡回します。司会者は、アドバイザーがグループに入った際に、メンバーが質問や助言を求められるよう、対応をお願いします。</u></p> <p>【自己紹介】(自分が関わっている活動を含む) (1人1分程度)</p>	<p>※ <u>ワークショップにおける基本ルール</u></p> <p>① カメラは原則オン。 ② 他者の発言中は、話に割り込まない。 ③ 他者の発言中は、うなづく等、リアクションを取る。 ④ 提案は、最初から否定しない。</p>
14:55～15:45 (50分)	<p>【①地域課題の洗い出し】(グループのメンバーの地域の課題を挙げる) ・保護者同士の関係の希薄化、子供の生活習慣の改善、子供の不登校防止 等</p> <p>【②どこどこ(誰)が連携できるか、何を活用できるか】 (パネルディスカッションを踏まえ、メンバーの地域で課題の解決に向けた連携を挙げる) ・〇〇 と ×× が連携できる、△△ に空き部屋がある、□□ の人が協力してくれそう 等</p> <p>【③地域資源と連携した具体的な方策】 (①で挙げた課題の解決に向けて、②で挙げた機関や人材を活用した方策を考える)</p> <p>【④連携によるお互いのメリット】 (③の実施によって関係機関や人材が受けるメリットを考える)</p>	
15:45～15:50 (5分)	<p>【全体まとめ】(発表やワークシート提出に向けて、検討内容の整理・とりまとめ)</p> <p>※ <u>ワークシートは、全てのグループから提出していただきます。</u></p> <p>※ <u>時間になり次第、自動的にグループ分けが解消されます。</u></p>	
15:50～16:00 (10分)	発表(3チーム×3分程度)	<p>※ <u>発表するグループは協議中に事務局から指名します。</u></p> <p>※ <u>発表を聞く際は、カメラ・マイクをオフにしてください。</u></p>
16:00～16:10 (10分)	まとめ・講評	